

令和5年度介護職員初任者研修養成事業 <社協ホームページ情報掲載内容>

※掲載内容は令和5年4月時点での情報になります。開催都合の関係上、日程・場所・講師等の変更により、掲載内容と異なる場合があります。ご了承ください。

	法人情報	法人名称	社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
		代表者名	会長 山木 知也
		法人理念	「おだがいさまのまちづくり」 1. みんなで支え合い、人にやさしいまちをつくります 2. 誰もが自分らしく暮らすための福祉サービスに努めます。 3. 人を大切にし、やりがいのもてる職場を目指します。
	研修機関 情報	事業所名称	社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会 介護職員初任者研修 養成事業
		住所	山形県鶴岡市山王町 13-36
		学則	★①
		研修施設	・ 鶴岡市社会福祉協議会事務局 ・ 地域福祉センターなえづ ・ 鶴岡市中央公民館
研修事業 情報	研修の概 要	対象	・ 鶴岡市在住又は勤務しており、介護の仕事に興味のある健康 で全日程受講可能な方。
		研修日程	★② ※都合により、日程等が変更になる場合があります。ご了承ください。
		定員	・ 15名
		指導者数	・ 50名（予定）
		研修受講ま での流れ	鶴岡市社会福祉協議会 事業推進課へ電話でお申し込みください。申し込みの受け付けは先着順とさせていただきます。 その後、受講説明会に出席していただき、正式な受講申込書をご記入いただきます。 申込書 *仮申込み期間・受付時間 令和5年6月1日（木）～6月13日（火） 9：00～17：00（土日を除く） *受講説明会 ※受講申し込をされた方だけの出席です。 令和5年6月13日（火）18：00～
		費用	★③
		受講ご希望 の皆様へ	夜間の講義と夏休み中の実習で、高校生も受講可能なカリキュラムです。高校生やお仕事をお持ちの方などこれまでも多くの方が資格を取得しています。介護の基本的な知識・技術を学び『介護職員初任者研修修了』の資格取得を目指します！

課程責任者	課程編成責任者名	社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会 事業推進課 佐藤 好和		
	課程編成責任者の現職・資格	≪現職≫ 事務局参事兼事業推進課長 ≪資格≫ ・社会福祉主事任用資格		
研修カリキュラム	科目別シラバス	★④		
	科目別担当講師名	★⑤		
	修了評価の方法	1. 演習及び実習の実施状況や理解度を該当する各項目の演習担当講師より判定し、技術評価区分を定める。 2. 全課程の受講完了後に筆記試験（1時間）を実施し、知識評価区分を定める。 3. 技術および知識評価区分を総評して、当事業が定める評価基準を満たした者について合格とし、研修修了を認める。 ※詳細は学則の「6. 研修修了の認定方法」を参照。 <b>【注意事項】</b> 判定の結果、修了と認められなかった者への受講料その他研修にかかった全費用については一切返金・弁償等を行いません。予めご了承ください。		
実習施設	協力実習機関の名称・所在地・概要等	実習機関名	URL	実習担当者名
		デイサービスセンターたかだて	★⑥	佐々木ゆかり
		デイサービスセンターなえづ	★⑥	五十嵐美紀
		デイサービスセンターとようら	★⑥	土岐正史
		デイサービスセンターふれあい	★⑥	成澤留美
		鶴岡市高齢者福祉センター おおやま（在宅部門）	★⑥	佐藤照美
		デイサービスセンターくしびき	★⑥	大沼美穂
		訪問介護事業所 なえづサライト	★⑥	太田庸子
		訪問介護事業所 とようらサライト	★⑥	佐藤美和
		訪問介護事業所 ふれあいサライト	★⑥	金内夏子
		訪問介護事業所 おおやまサライト	★⑥	加藤美穂
		訪問介護事業所 くしびきサライト	★⑥	井上智佳
		鶴岡市高齢者福祉センター おおやま（特養・短期入所部門） グループホームはちもり	★⑥	渡部 最 上野眞由美
実習内容・指導体制等	＊施設見学 研修の序盤で、デイサービスの施設見学を行います。そこでデイサービス事業の雰囲気や施設で働く現場の理解を深め、今後の研修に向けて意欲やイメージを高めていただきます。			

		<p>実習先では、実習担当者をはじめ、現場の職員による施設およびデイサービスの概要等について見学を交えながら指導します。</p> <p>＊特別養護老人ホーム・グループホームの施設実習(体験・見学)  ＊デイサービスの施設実習(体験・見学)  ＊訪問介護の同行訪問(見学)</p> <p>一連にわたって講義・演習等を終えた後、上記3つの実習を行います。それぞれの介護サービスにおける現場の理解はもちろん、これまで習得したことを実際に利用者に関わりながら支援技術等を体験・見学していただきます。実習先では、実習担当者をはじめ、現場職員が各支援技術やその他業務における留意点等について指導します。</p>
	実習施設毎の受入延べ人数	各デイサービス：1日当たり4名(延べ人数48名) 各訪問介護事業所：1日当たり2名(延べ人数25名) 特別養護老人ホーム：1日当たり2名(延べ人数20名) グループホーム：1日当たり2名(延べ人数5名)
講師情報	講師氏名・略歴・現職・資格	★⑦
実績情報	過去の研修実施回数	14回
	過去の研修延べ参加人数	178人
連絡先等	研修に関するお問合せ	社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会 電話 0235-26-7815 FAX 0235-26-7837 養成研修担当課 事業推進課
	研修に関する苦情受付先	社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会 電話 0235-26-7815 苦情対応責任者 事務局長 佐藤 豊継

# 令和5年度介護職員初任者研修開催学則

## 1 目的

高齢化が進み、一人暮らしの高齢者や虚弱な高齢者世帯、寝たきりや認知症等の要介護者が増加してきている。こうした人々を社会全体で支えるシステムとして、公的介護保険制度が施行された。

このような福祉制度の充実により、本市における介護保険事業の人材育成と雇用促進を図るとともに、これからの福祉ニーズに対応できるような家族介護、福祉教育に役立てることを目的とする。

## 2 研修事業の名称

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会 介護職員初任者研修 養成事業

## 3 課程編成責任者の氏名

佐藤 好和

## 4 実施場所

・ 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市山王町13番36号

電話 0235-26-7815

・ 鶴岡市中央公民館

鶴岡市みどり町22番36号

電話 0235-25-1050

・ 地域福祉センターなえづ

鶴岡市ほなみ町3番1号

電話 0235-25-9255

## 5 開催期間

令和5年6月15日から 令和5年10月31日

## 6 開催カリキュラムおよび開講時間

別紙のとおり

## 7 研修修了の認定方法

介護職員初任者研修課程の全受講完了し、修了評価の結果が下記の所定水準（筆記・技術評価いずれもA～Cの区分の場合。詳細については下記の①～③

のとおり)を満たしているものについては、当協議会会長が修了を認定し、介護保険法施行規則第22条の25に規定する修了証明書を交付する。

- ① 筆記試験は100点満点とし、A(90点以上)、B(89～80点)、C(79～70点)、D(69点以下)の4区分により評価する。  
評価区分でDと判断された者については、再試験(2回まで)を実施する。  
その際、再試験料として1,000円を徴収する。
  - ② 技術評価は170点満点とし「こころとからだのしくみと生活支援技術」における演習と実習で行う。生活支援技術に係る演習受講内容及び実習先からの実習報告書に基づき、当該項目の担当講師が評価する。各項目の評価を総合し、A(145点以上)、B(144～110点)、C(109～85点)、D(84点以下)の4区分により評価する。
  - ③ 上記①②の評価区分を総合し、評価基準を満たした者を合格とする。  
評価方法の概要(修了評価表)については別紙参照のこと。
- ※修了評価基準に満たなかった場合、修了と認定しない。また、納めた費用についての返金は一切行わない。

## 8 受講資格

- ・鶴岡市内在住又は勤務(通学)しており、介護の仕事に興味があり全日程の受講が可能な方。

## 9 受講手続き(募集要領等)

設定した期間内に下記へ電話で申し込みを行い、受講説明会出席時に本人確認後、正式申込書を提出し受講受付とする。

鶴岡市山王町13-36

鶴岡市社会福祉協議会 事業推進課

電話0235-26-7815

尚、申し込み(受講説明会参加への受付)は先着順とする。

## 10 受講料、実習費等

### 受講料

一 一般 30,000円(テキスト代を含む・税込)

高校生・社協職員 7,124円(テキスト代のみ・税込)

※テキスト購入時の送料は開催者負担とする。福祉施設の実習で、指定する項目の健康診断書が必要な場合、その経費及び個人にかかる経費は別途負担とする。

補講料 1講義につき 1,000円(税込)

実習半日に付き 1,000円(税込)

再試験料(1回につき) 1,000円(税込)

## 11 募集人員

20名

1.2 使用するテキストの名称

一般財団法人 長寿社会開発センター

「介護職員初任者研修テキスト」二訂を使用する。

1.3 補講の方法

研修の一部でやむを得ない事情があるものについては、修業年限内で当法人の開催する研修にて補講する。なお、補講に係る受講料として、一講義につき1,000円を徴収する。他に実習についての補講を必要と認めた時の料金を半日につき1,000円を徴収する。

1.4 修了者の管理

修了者は修了者台帳に記載し、知事に報告する。また、修了証明書を紛失した場合には申し出により当協議会が再発行を行う。その場合の費用はかからない。

## 研修日程表

※ 都合により日程等が変更になる場合があります。ご了承ください。

年月日 (注)	時間 (注)	時間数 (注)	日数	区分	科目	項目	講師①		講師(補助)②	
	開始 ~ 終了						資格	氏名	資格	氏名
5.6.26	17:50 ~ 18:15				開講式	開講式 オリエンテーション				
	18:20 ~ 20:30	2		講義	1 職務の理解	(1) 多様なサービスの理解	介護福祉士	鈴木崇史		
5.6.27	17:50 ~ 20:00	2		講義	1 職務の理解	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解	介護福祉士	五十嵐美紀		
	20:05 ~ 20:20	0.25			11 オリエンテーション	(1) 実習オリエンテーション				
5.6.28	17:50 ~ 21:10	3		講義	2 介護における尊厳の保持・自立支援	(1) 人権と尊厳を支える介護	介護支援専門員	大戸奈緒子		
5.6.29	17:50 ~ 21:10	3		講義	2 介護における尊厳の保持・自立支援	(1) 人権と尊厳を支える介護	介護支援専門員	畑山真美		
5.6.30又は 5.7.3	9:00 ~ 16:00	2		実習	1 職務の理解	(2) 介護職の仕事内容や働く現場の理解				
5.6.30	17:50 ~ 21:10	3		講義	2 介護における尊厳の保持・自立支援	(2) 自立に向けた介護	介護福祉士	奥泉里子		
5.7.3	17:50 ~ 19:30	1.5		講義	3 介護の基本	(1) 介護職の役割・専門性と多職種との連携	介護福祉士	石塚日登美		
	19:30 ~ 21:10	1.5		講義	3 介護の基本	(2) 介護職の職業倫理	介護福祉士	石塚日登美		
5.7.5	17:50 ~ 18:50	1		講義	3 介護の基本	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	看護師等	鈴木千穂		
	19:00 ~ 20:00	1		講義	3 介護の基本	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	介護福祉士	五十嵐みゆき		
	20:10 ~ 21:10	1		講義	3 介護の基本	(4) 介護職の安全	介護福祉士	五十嵐みゆき		
5.7.6	17:50 ~ 21:10	3		講義	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(2) 医療との連携とリハビリテーション	理学療法士	佐藤 匡		
5.7.7	17:50 ~ 21:10	3		講義	5 介護におけるコミュニケーション技術	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	介護福祉士	荒木裕幸		
5.7.10	17:50 ~ 21:10	3		講義	5 介護におけるコミュニケーション技術	(1) 介護におけるコミュニケーション	介護支援専門員	菅原麻樹		
5.7.11	17:50 ~ 21:10	3		講義	6 老化の理解	(1) 老化に伴うこととからだの変化と日常	看護師等	佐藤瑞貴		
5.7.12	17:50 ~ 21:10	3		講義	6 老化の理解	(2) 高齢者と健康	看護師等	石塚美穂		
5.7.14	17:50 ~ 19:30	1.5		講義	7 認知症の理解	(1) 認知症を取り巻く状況	介護福祉士	大沼美穂		
	19:30 ~ 21:10	1.5		講義	7 認知症の理解	(4) 家族への支援	介護福祉士	大沼美穂		
5.7.18	17:50 ~ 19:30	1.5		講義	7 認知症の理解	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	看護師等	菊池美紀		
	19:30 ~ 21:10	1.5		講義	7 認知症の理解	(3) 認知症に伴うこととからだの変化と日常生活	看護師等	菊池美紀		
5.7.19	17:50 ~ 18:20	0.5		講義	8 障がいの理解	(1) 障がいの基礎的理解	社会福祉士	粕谷香織		
	18:20 ~ 18:50	0.5		講義	8 障がいの理解	(3) 家族の心理・関わり支援の理解	社会福祉士	粕谷香織		
	19:00 ~ 21:10	2		講義	8 障がいの理解	(2) 障がいの医学的側面・生活障害・心理・行動の特徴・関わり支援等の基礎的知識	社会福祉士	菅原健史		
5.7.20	17:50 ~ 20:00	2		講義	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(1) 介護の基本的な考え方	介護福祉士	井上純子		
5.7.21	17:50 ~ 21:10	3		講義	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(2) 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	介護福祉士	金内夏子		
5.7.24	17:50 ~ 20:30	2.5		講義	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	理学療法士	中里祥子		
5.7.25	17:50 ~ 20:30	2.5		講義	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	看護師等	小島真由美		
5.7.26	17:50 ~ 20:00	2		演習	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(4) 生活と家事	介護福祉士	加藤美穂		
5.7.27	17:50 ~ 20:30	2.5		講義	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	土岐正史		
5.7.28	17:50 ~ 20:30	2.5		講義	9 こころとからだのしくみと生活支援技術	(12) 死にゆく人に関連したこころとからだのしくみと終末期介護	介護福祉士	寒河江実		

年月日	時間		時間数	日数	区分	科目	項目	講師①		講師(補助)②	
	開始	～ 終了						資格	氏名	資格	氏名
5.7.31	9:50	～ 12:00	2		講義	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (5) 快適な居住環境整備と介護	理学療法士	遠藤拓也		
	13:00	～ 16:15	3		演習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (5) 快適な居住環境整備と介護	介護福祉士	相馬 恵	理学療法士	遠藤拓也
5.8.1	10:00	～ 12:10	2		講義	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	山口詩子		
	13:10	～ 16:25	3		演習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	佐藤照実	介護福祉士	佐藤美和
5.8.2	9:00	～ 12:15	3		演習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	太田庸子	介護福祉士	富樫美華
	13:15	～ 17:35	4		演習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (11) 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	富樫美香	介護福祉士	阿部あずさ
5.8.3	9:00	～ 12:15	3		演習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	五十嵐輝美	介護福祉士	井上 崇
	13:15	～ 16:30	3		演習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	小野寺崇	介護福祉士	長谷川のり子
5.8.4	9:00	～ 12:15	3		演習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	山本 尚	介護福祉士	井上智佳
	13:15	～ 17:35	4		演習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (9) 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	介護福祉士	佐藤志津	介護福祉士	佐藤 悠
5.8.7	9:00	～ 12:15	3		講義	4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (1) 介護保険制度	行政職員	茂木政信		
	13:15	～ 16:30	3		講義	4	介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (3) 障害福祉制度及びその他制度	行政職員	野口みゆき		
	16:35	～ 16:55	0.33			11	オリエンテーション (1) 実習オリエンテーション				
5.8.8	17:50	～ 20:00	2		講義	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (13) 介護過程の基礎的理解	介護支援専門員	小野寺貴子		
5.8.9	13:15	～ 17:35	4		演習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (14) 総合生活支援技術演習	介護福祉士	工藤孝子	介護福祉士	佐藤信子
5.8.10	13:15	～ 17:35	4		演習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (14) 総合生活支援技術演習	介護福祉士	齋藤理恵	介護福祉士	伊藤良子
5.8.8 8.16~8.31	8:30	～ 16:00	5	1	実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (5) 快適な居住環境整備と介護				
	～				実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護				
	～				実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護				
	～				実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護				
	～				実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (9) 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護				
	～				実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護				
	～				実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (11) 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護				
5.8.8 8.16~8.31	8:30	～ 16:00	11	2	実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (6) 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護				
					実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (7) 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護				
	～				実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (8) 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護				
	～				実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (9) 入浴・清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護				
	～				実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (10) 排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護				
	～		1	1	実習	10	振り返り (1) ・振り返り				
5.8.8 8.16~8.31	8:30	～ 16:00	2	1	実習	9	こころとからだのしくみと生活支援技術 (4) 生活と家事				
5.8.31	17:50	～ 20:00	2		講義	10	振り返り (1) ・振り返り	介護福祉士	鈴木崇史		
5.9.1	17:50	～ 18:50	1		講義	10	振り返り (2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	課程編成責任者	佐藤好和		
	19:00	～ 20:00	1			12	修了評価 (1) 筆記試験				
5.9.11	17:50	～ 18:30					閉講式				
							修了証交付 連絡事項				



《付表》受講費用等一覧

項 目	費 用 の 額
受 講 料 一 般 高校生	30,000円 7,124円
内テキスト代	7,124円
災害保険料	なし
実習を行うために必要となる健康診断に要する費用や損害賠償保険料等	当協議会が指定する診断書で健康診断を受けていただきます。医療機関の指定はありません。各自、実費負担になります。
補講に要する費用	1講義につき1,000円 実習の場合は、半日につき1,000円 ※受講申し込みに関しては、全課程出席できる方のみ対象となります。
その他の費用	修了評価による筆記試験の結果がD判定（不合格）だった場合、再試験を行います。その際、再試験料として1,000円がかかります。ただし、再試験は1度限りとなります。  修了証明書を紛失した場合の再発行の手数料はかかりません。

# 介護職員初任者研修シラバス

研修事業者名 社会福祉法人  
鶴岡市社会福祉協議会

科目及び 研修時間数	1 職務の理解 【6時間】		
特 徴	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で・どのような形で・どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。		
目 標	○研修過程全体の校正と各研修科目相互の関連性の全体像をあらかじめイメージできるようになる ○施設見学を通じて、介護職が働く現場や仕事内容を理解する		
項 目	研修 時間数	研修形態	内 容
多様なサービスの 理解	2	講義	①介護保険制度における多様なサービス ②介護保険外サービス
介護職の仕事内 容や働く現場の 理解	4	講義 ・ 実習 (施設見 学)	①介護の社会化と尊厳の保持 ②キャリアパスと介護職員初任者研修 ③OJT・Off-JTを通じた学習の継続 ④施設見学を通じて、サービス提供現場の具体的イメージをつかむ
合 計	6		

使用テキスト	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修 第1巻
使用機器・備品等	DVDを用いて講義を行う場合があります。
備考	施設見学を行うにあたり、事前オリエンテーション(上記時間外)を行います。

# 介護職員初任者研修シラバス

研修事業者名 社会福祉法人  
鶴岡市社会福祉協議会

科目及び 研修時間数	2 介護における尊厳の保持・自立支援 【9時間】		
特 徴	介護職が利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点及びやってはいけない行動例を学ぶ。		
目 標	<p>○具体的な事例を通して、利用者およびその家族の要望にそのまま応えることと、自立支援・介護予防という考え方に基いたケアを行うこととの違いを理解する。また、利用者の残存機能を効果的に活用しながら自立支援や重度化の防止・遅延化に資するケアを理解する。</p> <p>○利用者の尊厳を著しく傷つける言動とその理由について考え、理解する。</p> <p>○虐待を受けている高齢者への対応方法を知り、高齢者虐待について理解する。</p>		
項 目	研修 時間数	研修形態	内 容
人権と尊厳を 支える介護	6	講義	<p>①人間の尊厳の保持</p> <p>②ICF(国際生活機能分類)</p> <p>③生活の質(QOL)</p> <p>④ノーマライゼーション</p> <p>⑤虐待防止・身体拘束禁止</p> <p>⑥個人の権利を守る制度の概要</p>
自立に向けた 介護	3	講義	<p>①自立に向けた介護</p> <p>②介護予防</p>
合 計	9		

使用テキスト	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修 第1巻
使用機器・備品等	DVDを用いて説明をする場合があります。
備考	

# 介護職員初任者研修シラバス

研修事業者名 社会福祉法人  
鶴岡市社会福祉協議会

科目及び 研修時間数	3 介護の基本 【6時間】		
特 徴	○介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを学ぶ。 ○介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点からの支援方法を学ぶ。		
目 標	○介護職に求められる専門性を理解する。 ○介護におけるリスクに気づき、緊急対応の重要性を理解するとともに、場合によってはそれに1人に対応とせず、サービス提供責任者や医療職と連携することの重要性を理解する。		
項 目	研修 時間数	研修形態	内 容
介護職の役割、 専門性と多職種 との連携	3	講義	①介護環境の特徴の理解 ②介護の専門性 ③介護に関わる職種
介護職の 職業倫理		講義	①介護サービスの公共性と職業倫理 ②利用者・家族に対する責任 ③社会に対する責任
介護における 安全の確保と リスクマネジメント	3	講義	①介護における安全の確保 ②事故予防安全対策 ③感染対策のための基本的知識
介護職の安全		講義	①健康管理とストレスマネジメント ②介護職員の労働の権利と労働法
合 計	6		

使用テキスト	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修 第1巻
使用機器・備品等	DVDを用いて説明をする場合があります。
備考	

# 介護職員初任者研修シラバス

研修事業者名 社会福祉法人  
鶴岡市社会福祉協議会

科目及び 研修時間数	4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 【9時間】		
特 徴	介護保険制度や障害者自立支援を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について学ぶ。		
目 標	○介護保険制度・障がい者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について学ぶ。 ○「利用者の生活を中心に考える」という視点を共有し、その生活を支援するための介護保険制度、障害者自立支援制度、その他制度のサービス位置づけや代表的なサービスを理解する。		
項 目	研修 時間数	研修形態	内 容
介護保険制度	3	講義	①介護保険制度創設の背景及び目的、動向 ②仕組みの基礎的理解 ③制度を支える組織・団体の機能と役割、財源 ④ケアマネジメント
医療との連携と リハビリテーショ ン	3	講義	①医行為と介護 ②医療と介護の連携 ③リハビリテーション職種との連携
障害者総合支援 制度および その他制度	3	講義	①障害者福祉制度の理念 ②障害者自立支援制度の仕組みの基礎的理解 ③個人の権利を守る制度の概要
合 計	9		

使用テキスト	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修 第1巻
使用機器・備品等	DVDを用いて説明をする場合があります。
備考	

# 介護職員初任者研修シラバス

研修事業者名 社会福祉法人  
鶴岡市社会福祉協議会

科目及び 研修時間数	5 介護におけるコミュニケーション技術 【6時間】		
特 徴	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを取ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限取るべき、あるいは取るべきではない行動例を学ぶ。		
目 標	○利用者の心理や利用者との人間関係を著しく傷つけるコミュニケーションとその理由について考え、相手の心身機能に合わせた配慮ができるようになる。 ○チームケアにおける専門職間でのコミュニケーションの有効性や重要性を理解する。		
項 目	研修 時間数	研修形態	内 容
介護における コミュニケーション	3	講義	①介護におけるコミュニケーションの技法 ②利用者・家族とのコミュニケーションの実際 ③利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際
介護における チームのコミュニ ケーション	3	講義	①観察、記録、情報伝達 ②コミュニケーションを促す環境
合 計	6		

使用テキスト	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修 第2巻
使用機器・備品等	DVDを用いて説明をする場合があります。
備考	

# 介護職員初任者研修シラバス

研修事業者名 社会福祉法人  
鶴岡市社会福祉協議会

科目及び 研修時間数	6 老化の理解 【6時間】		
特 徴	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。		
目 標	高齢者に多い心身の変化、疾病の病状等について、その対応における留意点から、介護における生理的側面の知識を身につける。		
項 目	研修 時間数	研修形態	内 容
老化に伴う こころとからだの 変化と日常	3	講義	①老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 ②老化に伴うからだの変化と日常
高齢者と健康	3	講義	①高齢者の疾病と生活上の留意点 ②高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点
合 計	6		

使用テキスト	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修 第2巻
使用機器・備品等	DVDを用いて説明をする場合があります。
備考	

# 介護職員初任者研修シラバス

研修事業者名 社会福祉法人  
鶴岡市社会福祉協議会

科目及び 研修時間数	7 認知症の理解 【6時間】		
特 徴	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則について学ぶ。		
目 標	○認知症の利用者の心理や実際の行動から、介護において認知症を理解することの必要性に気づく。 ○具体的なケースを通して、認知症の利用者を介護するうえでの原則を理解する。		
項 目	研修 時間数	研修形態	内 容
認知症を取り巻く 状況	3	講義	①認知症ケアの理念
家族への支援		講義	①認知症家族介護者の現状の理解 ②認知症をもつ人の声、そして家族の声
認知症に伴う こころとからだの 変化と日常生活	3	講義	①認知症の人の生活障害・心理・行動の特徴 ②認知症の利用者への対応
医学的側面から 見た認知症の 基礎と健康管理		講義	①認知症の概念 ②認知症の原因疾患とその病気 ③原因疾患別のケアのポイントと健康管理
合 計	6		

使用テキスト	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修 第2巻
使用機器・備品等	DVDを用いて説明をする場合があります。
備考	



# 介護職員初任者研修シラバス

研修事業者名 社会福祉法人  
鶴岡市社会福祉協議会

科目及び 研修時間数	8 障がいの理解 【3時間】		
特 徴	障がいの概念とICF、障がい者福祉の基本的な考え方や介護における基本的な考え方について学ぶ。		
目 標	○介護において障がいの概念とICFを理解する。 ○高齢者の介護との違いを念頭におきながら、それぞれの障がいの特性と介護上の留意点について理解する。		
項 目	研修 時間数	研修形態	内 容
障がいの 基礎的理解	1	講義	①障害の概念とICF ②障害者福祉の基本理念
家族の心理、 かかわり支援 の理解	1	講義	①家族への支援
障がいの 医学的側面、 生活障害、 心理・行動の特徴、 かかわり支援等 の基礎的知識	1	講義	①身体障害                      ②知的障害 ③精神障害                    ④強度行動障害 ⑤難病
合 計	<b>3</b>		

使用テキスト	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修 第2巻
使用機器・備品等	DVDを用いて説明をする場合があります。
備考	

# 介護職員初任者研修シラバス

研修事業者名 社会福祉法人  
鶴岡市社会福祉協議会

科目及び 研修時間数		9 こころとからだのしくみと生活支援技術 【75時間】		
特 徴		○介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護について学ぶ。 ○尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。		
目 標		○介護実践に必要なこころとからだのしくみの基礎的な知識を学び、具体的な身体の名前の名称や機能等が列挙できるようになる。 ○利用者にとっておの生活の充足を提供し、かつ、不満足を感じさせない技術を習得する。 ○「死」に向かう生の充実と尊厳ある死について考えることができるようになる。		
項 目		研修 時間数	研修形態	内 容
基礎知識の学習	介護の基本的な考え方	2	講義	①介護の基本的考え方 ②重度化防止の視点
	介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4	講義	①高齢者の心理 ②自己実現と生きがいづくり
	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	4	講義	①人体の名称とはたらき ②運動動作に関する基礎知識 ③神経系に関するからだのしくみ ④バイタルチェック
	小計	10		
生活支援技術の講義・演習	生活と家事	2 見学含まず	講義	①家事と生活の理解 ②家事援助に関する基礎知識と生活支援
			見学	現場見学
	快適な居住環境整備と介護	5 見学含まず	講義	①住環境整備
			演習	福祉用具に関する留意点と支援方法 《福祉用具を使用しての演習》
			見学	現場見学
	整容に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護	3 実習含まず	講義・演習	整容に関する支援の基礎知識 《福祉用具を使用しての演習》
			実習(見学)	現場実習で支援体験・見学
	移動に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護	8.5 実習含まず	講義	移動に関する支援の基礎知識
			演習	移動に関する技術支援の留意点と支援方法 《福祉用具を使用しての演習》
実習(見学)			現場実習で支援体験・見学	

生活支援技術の講義・演習	食事に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	3 実習含まず	講義・演習	食事に関する支援の基礎知識 《食事介助の演習の実施》
			実習(見学)	現場実習での支援体験・見学
	入浴と清潔保持に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	4 見学含まず	講義・演習	入浴と清潔保持に関する支援の基礎知識 《福祉用具を使用しての演習》
			実習(見学)	現場実習で支援体験・見学
	排泄に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	5 実習含まず	講義	排泄に関する支援の基礎知識
			演習	排泄に関する技術支援の留意点と支援方法 《福祉用具を使用しての演習》
			実習(見学)	現場実習で支援体験・見学
睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	4 実習含まず	講義・演習	睡眠に関する支援の基礎知識 《シーツ交換等の演習の実施》	
		実習(見学)	現場実習での支援体験・見学	
死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護	2.5	講義	①老いと衰えの理解とその反応 ②ターミナルケアの実際	
小計	55	※講義・演習…37時間 + 実習・見学…18時間		
生活支援技術演習	介護過程の基礎的理解	2	講義	①介護過程の基礎的理解 ②介護過程の展開の実際
	総合生活支援技術演習	8	演習	《演習①》要介護者(要介護1)への援助 《演習②》要支援者(要介護3)への援助
	小計	10		
合計時間	75時間			

使用テキスト	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修 第3巻
使用機器・備品等	DVDを用いて説明をする場合があります。 演習内容に応じて、福祉用具等を用いて行います。
備考	演習・実習内容に応じて、各個人で準備持参する必要がある場合があります(タオル・動きやすい服装・エプロン・内ズック・歯ブラシ・その他)。事前にお知らせしますので、当日持参してください。 施設実習及び見学を行うにあたり、事前にオリエンテーション(上記時間外)を行います。

# 介護職員初任者研修シラバス

研修事業者名 社会福祉法人  
鶴岡市社会福祉協議会

科目及び 研修時間数	10 振り返り 【4時間】		
特 徴	○研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行うとともに就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題の認識をはかる。		
目 標	○在宅・施設のいずれの場合も「利用者の生活の拠点に共にいる」という意識をもち、その要点を再確認する。 ○修了後に何を継続的に学習すべきかを理解できるように促す。		
項 目	研修 時間数	研修形態	内 容
振り返り	1	実習(見学)	実習を通して学んだことや考えたことの振り返り
	2	講義	①学習到達度の振り返り
就業への備えと 研修終了後における継続的な研修	1	講義	①質の向上と人材育成 ②キャリア段位制度と介護技術評価 ③事業所等における実例に学ぶ
合 計	<b>4</b>		

使用テキスト	一般財団法人 長寿社会開発センター 発行 介護職員初任者研修 第3巻
使用機器・備品等	
備考	

科 目	項 目	講師①	資 格	講師②	資 格
1 職務の理解 (6時間)	(1) 多様なサービスの理解	鈴木崇史	介護福祉士		
	(2) 介護食の仕事内容や働く現場の理解	五十嵐美紀	介護福祉士		
2 介護における尊厳の保持・自立支援 (9時間)	(1) 人権と尊厳を支える介護①	大戸奈緒子	介護支援専門員		
	(1) 人権と尊厳を支える介護②	畑山真美	介護支援専門員		
	(2) 自立に向けた介護	奥泉里子	介護福祉士		
3 介護の基本 (6時間)	(1) 介護職の役割・専門性と多職種との連携	石塚日登美	介護福祉士		
	(2) 介護職の職業倫理				
	(3) 介護における安全の確保とリスクマネジメント	鈴木千穂	看護師		
	(4) 介護職の安全	五十嵐みゆき	介護福祉士		
4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間)	(1) 介護保険制度	茂木政信	行政職員		
	(2) 医療との連携とリハビリテーション	佐藤 匡	理学療法士		
	(3) 障害者自立支援制度およびその他制度	野口みゆき	行政職員		
5 介護におけるコミュニケーション技術 (6時間)	(1) 介護におけるコミュニケーション	菅原麻樹	介護支援専門員		
	(2) 介護におけるチームのコミュニケーション	荒木裕幸	介護福祉士		
6 老化の理解 (6時間)	(1) 老化に伴うところとからだの変化と日常	佐藤瑞貴	保健師		
	(2) 高齢者と健康	石塚美穂	保健師		
7 認知症の理解 (6時間)	(1) 認知症を取り巻く状況	大沼美穂	介護福祉士		
	(4) 家族への支援				
	(2) 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	菊池美紀	看護師		
8 障がいの理解 (3時間)	(1) 障がいの基礎的理解	粕谷香織	社会福祉士		
	(3) 家族の心理・かかわり支援の理解				
	(2) 障がいの医学的側面・生活障がい・心理・行動の特徴・かかわり支援等の基礎的知識	菅原健史	社会福祉士		
9 ところとからだのしくみと生活支援技術 (75時間)	(1) 介護の基本的な考え方	井上純子	介護福祉士		
	(2) 介護に関するところのしくみの基礎的理解	金内夏子	介護福祉士		
	(3) 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	中里祥子	理学療法士		
		小島真由美	看護師		
	(4) 生活と家事	加藤美穂	介護福祉士		
	(5) 快適な居住環境整備と介護<講義>	遠藤拓也	理学療法士		
	(5) 快適な居住環境整備と介護<演習>	相馬 恵	介護福祉士	遠藤拓也	理学療法士
	(6) 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	佐藤照実	介護福祉士	佐藤美和	介護福祉士
	(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護<講義>	土岐正史	介護福祉士		
	(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護<演習①>	五十嵐輝美	介護福祉士	井上 崇	介護福祉士
	(7) 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護<演習②>	小野寺 崇	介護福祉士	長谷川のり子	介護福祉士
	(8) 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	山本 尚	介護福祉士	井上智佳	介護福祉士
	(9) 入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	佐藤志津	介護福祉士	佐藤 悠	介護福祉士
	(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護<講義>	山口詩子	介護福祉士		
(10) 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護<演習>	太田庸子	介護福祉士	富樫美華	介護福祉士	
(11) 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	富樫美香	介護福祉士	阿部あずさ	介護福祉士	
(12) 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	寒河江実	介護福祉士			
(13) 介護過程の基礎的理解	小野寺貴子	介護支援専門員			
(14) 総合生活支援技術演習①	工藤孝子	介護福祉士	佐藤信子	介護福祉士	
(14) 総合生活支援技術演習②	齋藤理恵	介護福祉士	伊藤良子	介護福祉士	
10 振り返り (4時間)	(1) 振り返り	鈴木崇史	介護福祉士		
	(2) 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	佐藤好和	課程編成責任者		

## 協力実習期間の名称・所在地・概要等

施設名	市外局番:0235		所在地	実習担当者
	電話番号	FAX番号		
<a href="#">デイサービスセンターたかだて</a>	33-0833	33-0854	〒997-1123 鶴岡市友江町23番14号	佐々木ゆかり
<a href="#">地域福祉センターなえづ</a>	25-9255	25-9277	〒997-0862 鶴岡市ほなみ町3番1号	五十嵐美紀
<a href="#">デイサービスセンターとようら</a>	38-8155	73-3870	〒999-7463 鶴岡市三瀬字菖蒲田67番地1	土岐正史
<a href="#">デイサービスセンターふれあい</a>	29-0370	24-1140	〒997-0045 鶴岡市西新斎町14番26号	成澤留美
<a href="#">鶴岡市高齢者福祉センターおおやま (デイサービス部門)</a>	38-0255	38-0256	〒997-1124 鶴岡市大山三丁目34番1号	佐藤照実
<a href="#">鶴岡市高齢者福祉センターおおやま (特養・短期入所部門)</a>	38-0250	38-0251		渡部 最
<a href="#">デイサービスセンターくしびき</a>	57-5080	57-5082	〒997-0346 鶴岡市上山添字成田21番地9	大沼美穂
<a href="#">訪問介護事業所 なえづサテライト</a>	25-9265	25-9277	〒997-0862 鶴岡市ほなみ町3番1号	太田庸子
<a href="#">訪問介護事業所 とようらサテライト</a>	38-8155	73-3870	〒999-7463 鶴岡市三瀬字菖蒲田67番地1	佐藤美和
<a href="#">訪問介護事業所 ふれあいサテライト</a>	64-0315	29-1781	〒997-0045 鶴岡市西新斎町14番26号 (鶴岡ふれあいプラザかたりあい内)	金内夏子
<a href="#">訪問介護事業所 おおやまサテライト</a>	38-0255	38-0256	〒997-1124 鶴岡市大山三丁目34番1号	加藤美穂
<a href="#">訪問介護事業所 くしびきサテライト</a>	57-5080	57-5082	〒997-0346 鶴岡市上山添字成田21番地9	井上智佳
<a href="#">グループホーム はちもり</a>	64-0122	73-3955	〒997-7462 鶴岡市三瀬字菖蒲田64番2号	上野真由美

● 講師情報

講師氏名	資格	現 職		略 歴	
		主な職歴		主な職歴	
		所 属	職 名	所 属	職 名
荒木裕幸	介護福祉士	櫛引福祉センター	係長	老人デイサービスセンター ふれあい	介護職員
五十嵐美紀	介護福祉士	デイサービスセンター なえづ	係長	ホームヘルパーステーション ふれあい	訪問介護員
大戸奈緒子	介護支援専門員	居宅介護支援センター ふれあい	主任	高齢者福祉センター おおやま	介護支援専門員 (介護保険施設)
畑山真美	介護支援専門員	地域包括支援センター かたりあい	主査	くしびき居宅介護支援 センター	介護支援専門員
奥泉里子	介護福祉士	特別養護老人ホーム おおやま	主任	鶴岡市ゆうあいプラザ かたぐるま	職業指導員 (障がい)
石塚日登美	介護福祉士	デイサービスセンター はちもり	主任	もみじが丘	生活支援員 (障がい)
鈴木千穂	看護師	デイサービスセンター とようら	主任	くしびきデイサービス センター	看護師
五十嵐みゆき	介護福祉士	もみじが丘兼温海グループ ホーム茶や町荘	主任	なえづ生活介護事業所	生活支援員 (障がい)
佐藤 匡	理学療法士	鶴岡市ゆうあいプラザ 生活介護事業所	理学療法士	とようら老人デイサービス センター	理学療法士
菅原麻樹	介護支援専門員	居宅介護支援センター なえづ	主任	居宅介護支援センター ふれあい	介護支援専門員 (介護保険施設)
佐藤瑞貴	保健師	鶴岡市ゆうあいプラザ 生活介護事業所	保健師	地域包括支援センター かたりあい	保健師
石塚美穂	保健師	地域包括支援センター かたりあい	主任	くしびきデイサービス センター	保健師
菊池美紀	看護師	デイサービスセンター くしびき	主任	鶴岡市高齢者福祉センター おおやま	看護師
大沼美穂	介護福祉士	デイサービスセンター くしびき	主任	くしびきデイサービス センター	介護職員
粕谷香織	社会福祉士	鶴岡市障害者相談支援 センター	主任	地域福祉課地域福祉係	生活相談員
菅原健史	社会福祉士	鶴岡市障害者相談支援 センター	主任	地域福祉課地域福祉係	生活相談員
井上純子	介護福祉士	居宅介護支援センター ふれあい	主任	なえづ身体障害者デイサー ビスセンター	介護職員
金内夏子	介護福祉士	訪問介護事業所 ふれあいサテライト	主任	老人デイサービスセンター たかだて	介護職員
中里祥子	理学療法士	デイサービスセンター ふれあい	副主任	なえづ老人デイサービスセ ンター	理学療法士
小島真由美	看護師	鶴岡市高齢者福祉センター おおやま	係長	くしびきデイサービスセン ター	看護師
加藤美穂	介護福祉士	訪問介護事業所 おおやまサテライト	主任	ホームヘルパーステーション ふれあい	訪問介護員
土岐正史	介護福祉士	デイサービスセンター とようら	主任	くしびきデイサービス センター	介護職員
寒河江実	介護福祉士	特別養護老人ホーム おおやま	副主任	特別養護老人ホーム おおやま	介護職員
遠藤拓也	理学療法士	鶴岡市高齢者福祉センター おおやま	主任	介護老人保健施設かけはし	理学療法士
相馬恵	介護福祉士	居宅介護支援センター おおやま	主任	市社協ホームヘルパー ステーション(旧)	訪問介護員
山口詩子	介護福祉士	鶴岡市ゆうあいプラザ 生活介護事業所	主任	鶴岡市ゆうあいプラザ かたぐるま	生活支援員 (障がい)

佐藤照実	介護福祉士	デイサービスセンター おおやま	係長	老人デイサービスセンター たかだて	介護職員
佐藤美和	介護福祉士	訪問介護事業所 とようらサテライト	副主任	ホームヘルパーステーション ふれあい	訪問介護員
太田庸子	介護福祉士	訪問介護事業所 なえづサテライト	主任	訪問介護事業所なえづ サテライト	訪問介護員
富樫美華	介護福祉士	デイサービスセンター なえづ	副主任	特別養護老人ホーム おおやま	介護職員
富樫美香	介護福祉士	デイサービスセンター くしびき	主任	老人デイサービスセンター ふれあい	介護職員
阿部あずさ	介護福祉士	デイサービスセンター たかだて	副主任	なえづ老人デイサービスセ ンター	介護職員
五十嵐輝美	介護福祉士	デイサービスセンター ふれあい	副主任	なえづ老人デイサービス センター	介護職員
井上 崇	介護福祉士	デイサービスセンター たかだて	副主任	老人デイサービスセンター ふれあい	介護職員
小野寺崇	介護福祉士	鶴岡市ゆうあいプラザ 生活介護事業所	係長	なえづ生活介護・自立支援 (機能訓練) 事業所	生活支援員 (障がい)
長谷川のり子	介護福祉士	鶴岡市ゆうあいプラザ 就労継続支援事業所	主任	なえづホームヘルパー ステーション	訪問介護員
山本 尚	介護福祉士	訪問介護事業所 本部	主任	特別養護老人ホーム おおやま	介護職員
井上智佳	介護福祉士	訪問介護事業所 くしびきサテライト	副主任	くしびきデイサービスセン ター	介護職員
佐藤志津	介護福祉士	訪問介護事業所 本部	主任	短期入所センターおおやま	介護職員
佐藤 悠	介護福祉士	なえづ生活介護事業所	主任	なえづ生活介護事業所	生活支援員 (障がい)
茂木政信	行政職員	鶴岡市役所健康福祉部 長寿介護課	専門員	厚生労働省派遣	行政職員 (高齢者担当)
野口みゆき	行政職員	鶴岡市健康福祉部 障害福祉課	主査	鶴岡市健康福祉部 障害福祉課	行政職員(障がい 者(児)担当)
小野寺貴子	介護支援専門員	居宅介護支援センター とようら	主任	とようら居宅介護支援セン ター	介護支援専門員 (介護保険施設)
工藤孝子	介護福祉士	居宅介護支援センター なえづ	係長	なえづ老人デイサービス センター	介護職員
佐藤信子	介護福祉士	居宅介護支援センター おおやま	副主任	なえづホームヘルパー ステーション	訪問介護員
齋藤理恵	介護福祉士	居宅介護支援センター くしびき	主任	なえづホームヘルパー ステーション	訪問介護員
伊藤良子	介護福祉士	居宅介護支援センター なえづ	副主任	ホームヘルパーステーション ふれあい	訪問介護員
鈴木崇史	介護福祉士	事務局事業推進課	副主任	老人デイサービスセンター おおやま	介護職員
佐藤好和	課程編成責任者	事務局事業推進課	課長	地域福祉センターなえづ	所長